

横浜市盲特別支援学校の通学路計画

曽我部研究室 西蔵 祥大

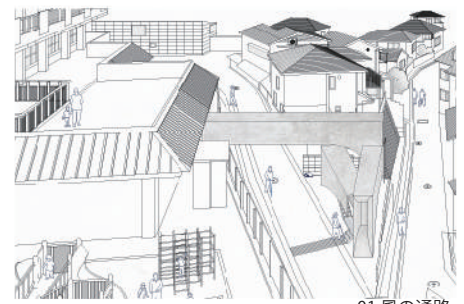
研究概要：日常的に横浜市盲特別支援学校の通学路を利用している視覚障がい者の観察を行い、そこから横浜市盲特別支援学校の新たな通学路におけるアイデアを発見し、具体的なコンセプトやデザインの検討を行う。

研究目的：視覚障害者の空間認知をもとに、横浜盲特別支援学校の通学路を新たに捉え直して計画を行うことによって、横浜市盲特別支援学校の生徒の通学がより安全で快適なものになること、地域住民のあたたかい環境への眼差しの創出、そして、視覚障がいの垣根をなくすことができれば良いと考える。

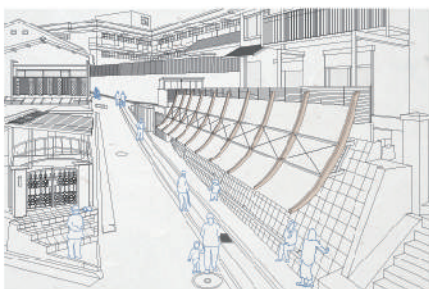
研究成果：



調査対象者	Cさん
年齢	50歳
性別	男
原因	網膜色素変性症
視覚経験	35歳から全盲になり白杖を利用している。
白杖の利用	あり
通学状況	単独



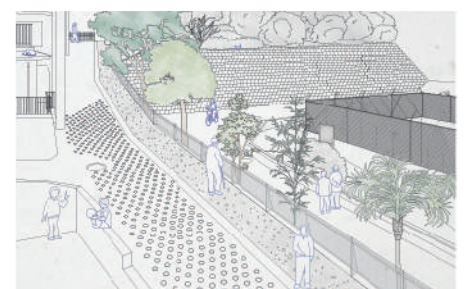
01.風の通路



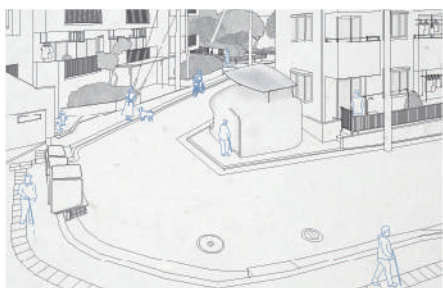
02.琴の休憩所



03.感触の散歩道



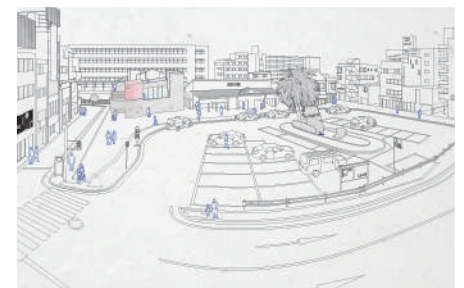
04.木の散歩道



05.水の休憩所



06.間隔の散歩道



07.壁の学校

苦労した点や感想など：

中間発表の時には、どのような設計をすればいいのかが全く分からない状態でしたが、よくここまで辿り着いたと思っています。いま振り返ってみればたくさんの視覚障がいを持つ方々とのヒアリングが、設計の力になっていったと実感しています。